

系	統	浸透性エポキシ樹脂接着剤
特	長	1) コンクリート湿潤面や鋼材に対する接着性に優れている。 2) 極めて粘度が低く、微細なひび割れ(0.2mm以下)への含浸性に優れている。
用	途	1) SBJT用プライマー (既設床板:ブレード等によるはつりの場合、SBJTのプライマーとして使用) NEXCO 構造物施工管理要領(令和7年7月)「鉄筋防錆材の性能照査項目」 適合品
配	合 比	主 剤 : 硬化剤 = 2 : 1 (重量比)
荷	姿	1kg (主 剤/0.67kg、硬化剤/0.33kg) 10kg (主 剤/6.67kg、硬化剤/3.33kg)
外	観 性 状	主 剤…無色透明液状 硬化剤…淡黄色透明液状 混合物…淡黄色透明液状

## 可使時間の目安

タ イ プ	通 年 用			
温 度[℃]	5	10	20	35
可 使 時 間[分]	210	140	60	14

比 重	1.15±0.05 (硬化物)
標準使用量	0.50 kg/m <sup>2</sup>
貯蔵保証期間	12か月 (未使用、冷暗所保存)
消防法による 危険物区分	主 剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性 硬化剤 危険物 第4類 第3石油類 非水溶性
毒物及び劇物 取 締 法	主 剤 該当しない 硬化剤 該当しない
使用 方 法	1) セット単位または主剤、硬化剤を配合比にしたがって計量して使用する。 2) 主剤、硬化剤を攪拌機で均一になるまで十分に混合攪拌する。 3) ローラー、刷毛などで塗布する。 4) 硬化前にSBJTをローラー、刷毛などで0.80 kg/m <sup>2</sup> 塗布する。 5) SBJTの打設有効時間内にCPJ-Lを打設する。
使用上の注意	1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去) 2) 接着面に浮き水がある場合は、浮き水を除去し、乾燥させる。 3) 主剤と硬化剤の混合攪拌時、空気を巻き込まないように、低速で攪拌を行う。 4) 可使時間内に塗布作業を終了する。 5) シンナーや水を混入して使用しない。

 注 意
---

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> <li>健康上、注意を要する物質を含有しています。</li> <li>皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。</li> <li>取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。</li> <li>詳細については安全データシート(SDS)を参照してください。</li> </ol> |
|--|